



認知症になっても安心して暮らしていける町を目指して…

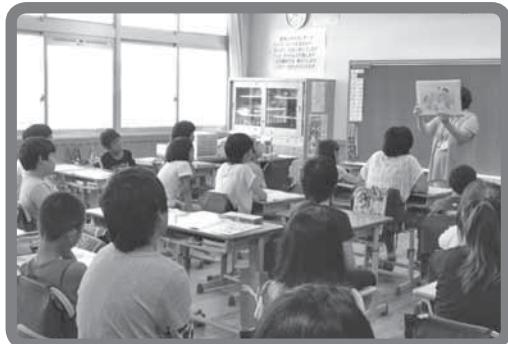
キッズ

## 湯浅小学校5年生が『認知症サポーター』に!!

◇◇『認知症サポーター養成講座』、福祉について学ぶ『総合学習』の授業の一貫として開講 ◇◇

8月26～28日の3日間で、湯浅町でたのもしい『認知症サポーター』が誕生しました。

『認知症サポーター』とは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族をあたたかい目で見守る応援者のことです。町内では、これまでに老人クラブや各種団体等を対象に『認知症サポーター養成講座』を開催し、291名が『認知症サポーター』となっています。



《紙芝居に集中しています！》

講座前は、「認知症って言葉は聞いたことあるけど詳しくは知らない」といった意見がほとんどでしたが、講座終了時には、「認知症の人が一番つらいんだ」「認知症について知れてよかったです」「挨拶ならできる」「認知症の人が悩まず安心して暮らしていけるように助けたい」「みんなが気づかい合い助け合えるやさしい町をつくりたい」など、すばらしい意見をしっかり持った立派な『認知症サポーター』が誕生していました。



《たくさん意見を出し合いました！》



《教本と紙芝居、『認知症サポーター』の証のオレンジリング》

今月の認知症の方を介護する家族のつどい  
『ぴあサロン』～家族のつどい～は  
10月22日(水) 13:30～15:30  
ふれあいプラザで開催します!



『認知症サポーター養成講座』は、4、5人のグループからどなたでも受講していただけます。

認知症になっても安心して暮らしていける町となるように、子供からお年寄りまでみんなで認知症について学び、『認知症サポーター』がたくさんいる、やさしい町をつくりませんか。

『認知症サポーター養成講座』

『ぴあサロン』～家族のつどい～  
についてのお問い合わせは下記まで

湯浅町地域包括支援センター

(健康福祉課内)

☎ 64-1120

